

## 平成 28 年熊本地震の文書管理業務への影響について

**1 被害の概要**

平成 28 年 4 月 14 日の前震及び同 16 日の本震発生後、文書班職員が県庁本館地下及び議会棟地下の文書倉庫を調査し、確認した結果は下記のとおり。

## (1) 本館地下 2 階文書倉庫

- ・ 文書棚については、被害なし。一部の文書棚から文書が落下、散乱したが、文書が破損する等の被害はなかった。

## (2) 議会棟地下文書倉庫

各書庫において、上記と同様に一部文書の散乱があったほかには

- ・ A 書庫においては、移動棚が下部レールから外れる被害あり。
- ・ B 書庫においては、一部文書棚が倒壊するなどの被害があった。
- ・ C 書庫においては、移動棚が下部レールから外れる被害あり。

※議会棟地下文書倉庫の被害状況写真は別添のとおり

**2 復旧の状況**

- (1) 散乱した文書については、平成 28 年 10 月末頃までに各所属担当者がそれぞれ復旧を行った。
- (2) 倒壊した文書棚、レールから外れて稼働できなくなった移動棚については、平成 29 年 11 月末までに業者に修繕を依頼し、原状回復を行った。その費用は、199 万 3 千円強であった。

**3 その他の影響**

平成 28 年熊本地震を受け、熊本県では災害復旧を最優先とし、県政情報文書課では、県立大学が行う施設の復旧及び被災した学生の経済的負担軽減措置を支援することを優先。そのため、次の文書管理業務については当面休止、延期することとした。なお、平成 29 年度は全て実施する予定である。

- (1) 文書取扱主任者研修
- (2) 文書点検(各文書管理者が点検項目に基づき自己点検し、文書課へ報告)
- (3) 文書監査(県政情報文書課担当が 5～6 の所属の文書管理状況を監査)
- (4) ファイル管理簿報告(ファイル管理簿の HP 等による県民への公表)
- (5) 管理状況報告(各実施機関分を取りまとめて公表するもの)
- (6) 廃棄文書の有識者意見聴取
- (7) 廃棄対象行政文書に関するパブリックコメント
- (8) 行政文書等管理委員会の開催